

22秋	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
1	日本語1総合B	桂 千佳子	月曜・3限	N313	近未来の自分の居場所としてのダイバシティ(多文化共生)におけるコミュニケーションの在り方を明確に描けるようになる	最終成果物: 将来の自分へのアドバイス ①これまでの日本語・日本文化についての学び、②自文化・自国語の再認識を通し、異文化理解の必要なことを各自で明確にしていく。授業時には様々なフレームワークを使ったペアあるいはグループでの活動が中心となるため、できるだけ欠席しないようにすること。	プリント配布・インターネットのWebサイト	授業時の取り組み 40% 授業外の取り組み 30% 提出物 30%
	日本語1会話B1/ 表現法D(口頭コミュニケーションI)	南浦 涼介(みなみうらりょうすけ)	月曜・1限	S107	この授業では、「笑い」と「文化」の関係に視点をおいて、「漫才」を留学生でつくり、実際に行います。それを通して、観客に対しておもしろさを考え、実際に表現していくときのことばのありかたを考えていきます。	上記の目的を、吉本所属の国際夫婦漫才コンビのフランボネさんと協働で進めていきます。 プロジェクトワーク形式で進めていきます。 1) 漫才の日本語を体験する(第2回 吉本の漫才コンビフランボネさんとの協働) 2) 漫才の日本語の脚本を分析し、笑いのしかけ、フリートークツツコミなどの会話のジャンル形式を理解する(第3回) 3) ペアで漫才の台本をつくり、練習して実演する(第4回～第7回 実演時は吉本のフランボネさんの講評付き) 4) 改めて台本を考えなおし、漫才台本をつくり、練習する(第8回～第13回) 5) G1グランプリを開催し、Zoom上で学生たちに漫才の披露をする(第14回 吉本のフランボネさんからの講評付き) 6) ふり返しを行う(第15回)	とくに事前に指定はしません。授業内で指示します。	1) 授業時のふり返し TEAMSでふり返しを投稿に対する返信形式で行っていきます。目的 学生同士の考えや状況の報告を互いに共有することで、理解や活動のくふうなどを深めていくために行います。 2) 漫才の台本を実演 第7回及び第14回での漫才の台本と実演 3) 全体のふり返し 第15回ときに、笑いとは文化の関係性について、自分たちが取り組んだ漫才の経験をもとえてレポートをして共有します。 ・期末課題 40%
	日本語1会話B2	稲田 直子(いなだ なおこ)	木曜・3限	N313	複雑で、抽象的なことが話せ、相手や場面に応じた適切な話しができる。まとまった内容の抽象的な談話、専門的な談話が理解できるようになる。	次のような練習を行う。 ・ある社会的なトピックについて、自分の意見を論理的に、相手にわかりやすく話す ・相手の発言意図を理解し、場面に応じた表現で円滑にコミュニケーションができる ・聞き手の心に響くスピーチについて考え、実施するトピックやテーマについては、履修者と相談して最終決定する。	プリント配布	出席・授業参加度 40%、課題・宿題 30%、スピーチ 30%
	日本語1講読B	新谷あゆり(しんやあゆり)	金曜・3限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが読めるようになる。	短編・長編小説を展開や結末を想像しながら読む。小説の結末を書く。 語彙・表現を学習する。	『阪急電車』有川浩(ありかわひろ) 幻冬舎文庫	出席・参加度・課題60% 小テスト・期末テスト40%
	日本語1作文B1	横山 和子(よこやま かずこ)	月曜・2限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが書けるようになる。	・各自テーマ(=伝えたい事柄)を決めて論理的な文章を書いていく。具体的には説明文、意見文を中心にこれらに必要な表現(図表の説明の仕方、引用の仕方、など)を学ぶ予定であるが、受講生のニーズによっては論文作成に関する事柄も扱う可能性がある。 ・授業では各自書いた作文をお互いに読み合い、意見交換をすることで、自己修正力やテーマについての理解を深める。	プリント配布	授業への参加度20% 課題提出30% 文章50%(内容・日本語の正確さ)
	日本語1作文B2/ 表現法B(ライティングI)	北澤 尚(きたざわ たかし)		国二演	現代日本語の表現の諸相を具体的に学び、アカデミックライティングにおける適切な日本語を使用するための実践力を身につける。	留学生及び大学生として必要な日本語表現力を養うための授業である。この授業では文章表現(特にアカデミックライティング)を中心に上げる。具体的な内容は下記の「授業スケジュール」を参照すること。演習科目である。毎回、授業後に課題を出し、次回までに提出してもらう予定である。なお、春学期が基本編であったのに対して、秋学期は応用編である。実際に論文を提示し、添削の過程を通して、実践的に論文作成の技法を習得してほしいと願っている。また、履修者自身小論文を執筆してもらい、その文章表現を添削する予定である。	第1回目の授業において教科書については指示する。	出席状況、毎回提出のレポート課題の内容、授業時の積極的な態度の有無などを総合的に評価する。
	日本語1文法B	岩崎 拓也(いわさき たくや)	金曜日・4限	N313	上級の文法項目を習得する。	既習の中級以上の文法の使い分けができるようになることを目指します。授業では、実際のコミュニケーション場面をもとに、文法をどのように使い分けられるかを説明やディスカッションを通して学び合います。この授業では、グループ(または個人)での発表があります。	プリント配布	出席、授業の参加度40%、課題30%、発表の評価30%
	日本語1漢字B	坂田 睦深(さかた むつみ)	火曜日・2限	N313	1000字程度の漢字およびそれを使った語彙の運用力をつける。	教科書の奇数課の中から5～6課分を学習予定。初回の授業で希望を開く。各課終了後、指定範囲から漢字の書き取りのクイズを行う。そのクイズを中心に期末テストを行う。また、「今週の漢字」として、新出の漢字を3つ挙げて、自分なりの覚え方、興味のある漢字とその理由について説明する。	『Intermediate Kanji Book, Vol. 2』(凡人社)	課題の提出状況と授業の参加度(「練習」の答え合わせ、発表等) 70%、各週のクイズ10%、期末テストで20%
	日本語1聴解B	笹目 実(ささめ みのる)	水曜日・2限		複雑で抽象的な談話の流れが聞き取れるようになる。	あるテーマに関する話やネットニュースを視聴し、理解する。視聴しながら、重要な言葉や表現を聞き取る。それを他の学生に伝え意見を交換する。語彙小テストを行う。	プリント配布	授業参加度50% 語彙テスト・中間・期末テスト30% 課題20%
	日本語1特別演習B [ドラマで学ぶ日本語]	宮本 典以子(みやもと 典子)	水曜・1限	N306	まとまった内容の抽象的な談話の流れが理解できるようになる。自分の考えが伝えられるようになる。	ドラマや映画を鑑賞し、実践的な話し言葉を学ぶ。取り上げる作品は、学園をテーマとしたものを中心とする予定。授業の前半の活動(語彙・漢字・言語表現等の学習)はピア活動を基本とする。ドラマについてのプレゼンテーションも行う。作品ごとのフィードバックシートやプレゼンテーション資料等を提出する。	プリント配布	授業参加度40%、提出物40%、発表20%
	日本語1特別演習B [ビジネスで学ぶ日本語]	福島 恵美子(ふくしま 恵美子)	木曜日・2限	N313	ビジネスに必要な日本語の表現を身につけ、日本語を使用するビジネス現場で求められるコミュニケーション能力を養う。	ビジネス現場で見られる複雑なコミュニケーションについて学習する。具体的には、連絡する、相談する、説得するなどである(先学期と内容は異なる)。ビジネス文書を書いたり、企画などのグループワークを行ったりもする。発表のテーマは相談して決める。	プリント配布	授業参加度(出席、授業態度)40%、課題(宿題を含む)20%、テスト20%、発表20%
	日本語1/2特別演習B [プロジェクト]	伊能 裕晃(いのう ひろあき)	金曜日・2限	N313	日本人学生とのディベートやグループ活動を通して、日本語の総合的な運用能力を高める。	日本人学生と一緒に日本語でディベートを行う。この授業は学芸大の日本人学生のための授業「学芸フロンティア科目F」と合同で行う。日本語でディベートを行う方法を基礎から学んだあと、最初は身近なテーマでディベートを行うが、学期の後半には、現代社会の様々な問題について、資料を調べ、準備をして、ディベートを行っていく。ディベートは、教室あるいはオンラインで行う予定。コロナの状況によっては、ワークシートに書く、チャットを使用するなど、授業の方法が変わる場合がある。	プリント配布	出席、授業の参加度40%、課題30%、ディベートの評価30%

2	日本語2総合B	横山 和子(よこやま かずこ)	月曜・3限	N402	他者との考えや意見のやりとりを通して、「自分の考え」を自分自身でつかみ、他者にわかるように表現していくという形で、日本語での表現力をつけていく。	・「異文化コミュニケーション」「公共の場でのマナー」などのテーマで、図書、新聞記事、統計資料などを読み、現代日本社会について理解を深める。内容を予測しながら文章を読む力、読みとった内容を日本語で表現する力、物事に対する自分の意見を論理的に述べる力をつけることを目指す。また、テーマごとに、発表やディスカッションなどの活動を行う。 ・扱うテーマは22年春季学期とは異なるので、22年春季学期の受講者にとって学習内容が重なることはない。	プリント配布	授業への積極性50% 活動(内容・日本語)50%
	日本語2会話B	坂田 陸深(さかた むつみ)	火曜・1限	N313	自分の考えや気持ちを伝えることができるようになる。具体的なまとまった談話が理解でき、抽象的なものも流れが理解できるようになる。	コースの前半は、教科書を中心に自己紹介、インタビュー、ディスカッションを行う。受講生の人数にもよるが、ディベートも行う予定。後半は教科書を参考にしながら、2・3分スピーチを行い、ミニ・ディスカッションもしながら、最終的には5分以上のプレゼンテーションを行う予定。	『もっと中級 日本語で挑戦! スピーチ&ディスカッション』(にほんごの凡人社) 第1課のみコピー配布予定。早めに購入すること。	授業の参加度20%、各種スピーチ40%、ディスカッション・インタビュー等で20%、プレゼンテーション20%の予定
	日本語2作文B	小池 恵己子(こいけ えみこ)	木曜・1限	N313	自分の意見を述べ、待遇表現が使えるようになる。	・日本語の表記のしかたを復習し、文体の違い、話しことばと書きことばの違いを理解して使い分けられるようになる。 ・読み手や状況に合った敬語表現を使って書く練習、論理的な構成の文章を書く練習をする。 ・事実と意見の区別、引用の基本についても学ぶ。 ・おたがいに作文を読み合い、話し合う活動をおこなう。	プリント配布	課題(作文) 60%、グループ活動・提出物10%、平常点(出席・授業への参加度) 30%
	日本語2文法B	荒巻 朋子(あらかまき ともこ)	木曜日・2限	N206	中級後半～上級の文法項目を習得する。	日本語の中級から上級の文法について、基本的な意味や用法、さらに類似表現との違いやどんな場面で使用するかなども学ぶ。発表、発表、中間・期末試験がある。	プリント配布	試験・クイズ: 60%、課題・発表: 20%、授業参加度20%
	日本語2漢字B	李貞政(い じょんみん)	月曜日・1限	N302	750字程度の漢字とその漢字を使ったことばを学習し、運用できるようにする。	・漢字の意味とその漢字を使ったことばの意味と使い方を学んでいきます。 ・今学期は教科書の1,3,4,6,7,課を2回で1課学習する予定です。 ・クラスでは漢字から語彙を広げたり、漢字語彙を使った文を作るなどの活動を中心とします。	『Intermediate Kanji Book 漢字1000 Plus, Vol.1』凡人社【改訂第3版】	出席・参加度20%、課題・発表40%、テスト40%
	日本語2講読B	岩崎 拓也(いわさき たくや)	金曜日・3限	N302	具体的な文章内容で、ある程度の長さの文章が読めるようになる。	前半では、様々なジャンルの長めの文章を扱い、ロジカルに読めるようになる練習をする。後半は、受講者と相談のうえ、短編小説やエッセイを読む。話の構成を意識しながらじっくり丁寧に読み深めて、意見や感想をクラスメイトと交換できるようにすることを目標とする。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度) 50%、期末試験50%
	日本語2聴解B	福島 恵美子(ふくしま えみこ)	木曜日・3限	N306	具体的なまとまった談話が理解でき、抽象的なものも流れが理解できるようになる。	日常生活の場面と社会的な場面での会話、スピーチ、ニュースなどを聞いて、情報を聞き取ったり、聞いた内容について要点をまとめ、伝えたりする練習をする。情報を聞き取るために必要な表現についても学習する。また、シャドーイング(Shadowing)の練習もする。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度) 40%、課題(宿題を含む) 20%、テスト40%
	日本語2特別演習B [マンガで学ぶ日本語]	宮本 典以子(みやもと といこ)	水曜日・2限	N313	話し言葉やマンガ特有の表現が理解できるようになる。自分の考えが伝えられるようになる。	マンガやアニメの鑑賞(かんしょう)を通して、よく使う話し言葉を学ぶ。扱う作品は「学園」をテーマにした作品を中心とする予定。言語表現の学習はピア活動とし、マンガ多読タイムも取る予定。またプレゼンテーションも行う予定。振り返りシート、多読シート、発表資料等を提出する。	プリント配布	授業参加度40%、提出物40%、発表20%
	日本語1特別演習B [ビジネスで学ぶ日本語]	笹目 実(ささめ みほ)	月曜日・2限	N301	ビジネス場面でのどのような会話の流れになるのか分かるようになる。	社内や社外というビジネス場面を設定する。賛成したり反対したりするとき、どのような会話の流れになるのか、モデル会話やロールプレーを行う。自らのビジネス事情を発表する。ビジネス表現を小テストする。	プリント配布	授業参加度40% 発表30% 語彙表現テスト30%
	日本語2/3特別演習B [多読]	桂 千佳子(かつら ちかこ)	金曜日・1限	N313	母語に翻訳することなく、辞書や参考書を見ずに、「自分の日本語」を使うことができるようになる。	4つのルールを守り、指示に従って、わからないことばがあっても辞書で調べないで、どんどん読む「多読」をします。読書記録をつけ、「おすすめの読み物」はみんなに発表し、その中から面白そうなるものを読む「ブックトーク」もします。読みものは、「みんなで共有できるもの」とします。	*読むもの ①教室に準備してある本 ②授業時に紹介したサイト	読書記録40% クラスで行うブックトーク 40% 期末プロジェクト 20%
3	日本語3総合B1	荒井 直美(あらい なおみ)	水曜日・1限	N302	初級後半から中級の文法や語彙を覚えて、それを使うようになる。	日本語の中級の文法(ぶんぼう)や言葉(ことば)をおぼえて、使えるようになるように、いろいろな練習(れんしゅう)をします。毎回、教科書(きょうかしょ)を読んで、予習(よしゅう)をしてきてください。かならず日本語3総合「B1」と「B2」の両方のクラスに出てください。	『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』スリーエネットワーク	出席、授業への参加度 40%、宿題 20%、テスト 40%
	日本語3総合B2	荒井 直美(あらい なおみ)	水曜日・2限	N302	初級後半から中級の文法や語彙を覚えて、それを使うようになる。	このクラスの目標(もくひょう)は、中級の文法や言葉(ことば)を使って、自分の考え(をんが)を日本語で表現(ひょうげん)できるようにすることです。読書記録(よききろく)を付けて、おすすめの読み物(よみもの)をみんなに発表し、その中から面白(おもしろ)いものを選び、話(わ)したりできるように、毎回、いろいろな練習(れんしゅう)をします。かならず日本語3総合「B1」と「B2」の両方のクラスに出てください。	『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第2版』スリーエネットワーク	出席、授業への参加度 40%、宿題 20%、テスト 40%
	日本語3会話B	李貞政(い じょんみん)	月曜日・2限	N302	具体的なことが説明できるようになる。日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	・日常(にちじょう)生活(せいかつ)などの身近(みじかな)なトピックについて、自分の経験(けいけん)や考えを話す練習(れんしゅう)をします。 ・短いスピーチや話し合いの練習をします。 ・「お願い(おねがい)する」「相談(そうだん)する」など日常(にちじょう)生活(せいかつ)でよくみられる場面(ばめん)の会話を練習(れんしゅう)します。	プリント配布	授業参加度(じゅぎょうさんかど) 40%、教室活動(きょうしつかつどう) 40%、テスト20%
	日本語3講読B	伊能 裕晃(いのう ひろあき)	金曜・3限	N301	日常的で長くない文章が読めるようになる。	日常生活(にちじょうせいかつ)についてのさまざまな文章(ぶんしょう)を読んで、内容を正確(せうさく)に理解(りかい)し、文章(ぶんしょう)中の文法(ぶんぽう)や表現(ひょうげん)ことばを学びます。	プリント配布	テスト40%、課題30%、授業参加度30%
	日本語3作文B	桂 千佳子(かつら ちかこ)	月曜日・1限	N301	具体的で、ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	1. 表現(ひょうげん)や単語(たんご)を決めて短文(たんぶん)を作る 2. 日常的(にちじょうてき)な出来事(うけごと)や考え(をんが)や気持ち(きもち)を書く 3. 書き言葉(かきことば)のルールを身につける	プリント配布	課題提出(かだいしゅつ)50% 授業参加度(じゅぎょうさんかど)50%
	日本語3文法B	稲田 直子(いなだ なおこ)	木曜・2限	N205	中級前半の文法項目を習得する。	初級(しょきゅう)の文法(ぶんぽう)の間違(まちが)いやすいものや、似(に)ているものを復習(ふくしゅう)してください。初級(しょきゅう)～中級(ちゅうきゅう)の文法(ぶんぽう)を勉強(べんきょう)します。クラスでは、教師(きょうし)が教(お)えるだけではなく、自分で調(しら)べたり、クラスメートと話し合(わ)ったり、発表(はっぴょう)し合(あ)ったりします。	プリントを配(くば)ります	出席・授業への参加度(さんかど) 30%、宿題(しゅどめ)20%、クイズ 20%、テスト30%
	日本語3漢字B	荒巻 朋子(あらかまき ともこ)	木曜・3限	N206	基本(きほん) (きほん) 漢字(かんじ)400～500を学ぶ。	テキスト35課以降(いこう)の漢字(かんじ)の読み方(よみかた)・書き方(かきかた)・使い方(つかいかた)を勉強(べんきょう)します。クイズ、中間・期末(きんぱく)テスト(紙(かみ)のテストに漢字(かんじ)を書く問題(もんだい)をふくむ)があります。宿題(しゅどめ)、発表(はっぴょう)もあります。	『新版』Basic Kanji Book 一基本漢字500 vol.2, 凡人社	中間(ちゅうかん)・期末(きんぱく) (きまつ) テスト50%、クイズ・発表(はっぴょう)表(ひょう) (はっぴょう) 30%、授業(じゅぎょう)の参加度(さんかど) 20%、
	日本語3聴解B	新谷あゆり(しんや あゆり)	金曜・4限	N301	日常的で具体的な談話が理解できるようになる。	身近(みじか)なトピック(トピック)のスピーチ・発表(はっぴょう) (はっぴょう)・ニュース(ニュース)などを聞いて内容(ないよう)を理解(りかい)する練習(れんしゅう) (れんしゅう)をします。毎週(まいしゅう) 小(しょう)テスト(しょう)もします。	プリントを配(くば)ります	出席(しゅつせき)・参加度(さんかど) (さんかど) 40%、課題(かだい) 40%、小テスト・期末(きまつ) テスト 60%

4	日本語4総合B	今井 美登里 (いまい みどり)・宮本 典以子 (みやもと ていこ)	火曜・1, 2限、木曜・1, 2限	N310	初級後半の文法項目 (こうもく) を習得 (しゅうとく) する。	テキストを使って、初級後半 (しよきゅうこうはん) の語彙 (ごい) や文法項目 (ぶんぽうこうもく) を理解 (りかい) し、使えるように練習 (れんしゅう) します。	『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』、『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 翻訳・文法解説』	授業 (じゅぎょう) への参加度 (さんかど) 40%、宿題・課題 (しゅくだい・かだい) 10%、テスト・クイズ50%
	日本語4漢字B	李貞政 (い じょんみん)	月曜日・3限	N310	基本 (きほん) 漢字300～400を学ぶ。	漢字 (かんじ) の読み (よみ) と書き (かき) と意味 (いみ) の練習 (れんしゅう) をします。1回 (かい) に1課 (か) 勉強 (べんきょう) します。毎回 (まいかい)、小 (しょう) テストをします。	[新版] 『Basic Kanji Book 基本漢字500』 vol.2, 凡人社	出席 (しゅつせき) ・参加度 (さんかど) 20%、課題 (かだい) 40%、テスト40%
	日本語4聴解B	桂 千佳子 (桂 千佳子)	月曜日・2限	N310	日常 (にちじょう) の短い会話や説明が開けるようになる。	テキストを見 (み) ながら聞 (き) いたり、見 (み) ないで聞 (き) いたりします。少し長 (なが) いスピーチや会話 (かいわ) を聞 (き) きます。	プリント・Webサイト	授業 (じゅぎょう) 40% 課題 (かだい) 30% 小 (しょう) テスト30%
	日本語4会話B	伊能 裕晃 (いのう ひろあき)	水曜・1限	N310	日常 (にちじょう) の会話コミュニケーションができるようになる。	勉強 (べんきょう) した言葉 (ことば) や文型 (ぶんけい) を使 (つか) って、いろいろな場面 (ばめん) の会話 (かいわ) を練習 (れんしゅう) します。発音 (はつおん) の練習 (れんしゅう) もします。	プリントを配 (くば) ります。	授業 (じゅぎょう) の参加度 (さんかど) 50% テスト 50%
	日本語4講読B	笹目 実 (ささめ みのる)	月曜日・1限	N310	日常的 (にちじょうてき) で長くない文章が読めるようになる。	物語、解説文、インタビューなど様々な文章を読む。語彙力を増やす。	プリント配布	授業参加度40% 課題30% 小テスト30%
	日本語4作文B	伊能 裕晃 (いのう ひろあき)	水曜・2限	N310	ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	短 (みじか) い文章 (ぶんしょう) を読 (よ) んで、今 (いま) まで勉強 (べんきょう) した文型 (ぶんけい) や、ことばを使 (つか) って作文 (さくぶん) を書 (か) きます。	『みんなの日本語初級 第2版 やさしい作文』スリーエーネットワーク	作文 (さくぶん) 50%、授業の参加度 (じゅぎょうのさんかど) 50%
5	Level 5 Japanese Comprehensive B	Mieko SUZUKI, Yuko YAMADE	Thursday 1st&2nd Friday 1st&2nd	N312	To acquire basic knowledge of Japanese grammar	Learning mainly Japanese grammar and vocabulary skills through activities, drills, quizzes, etc.	Marugoto Japanese Language and Culture Starter (Katudo) (Rikai) & Elementary 1 (Katsudo) (Rikai)	Participation 30%, Quizzes etc 30%, Exams (Assessments) 40%
	Level 5 Kanji B	ISHIZAKI Akiko, INO Hiroaki	2nd period on Monday and 2nd period on Tuesday	N312	To acquire basic knowledge of Japanese Kanji characters	Kanji and doing practices with drills, exercise	Basic Kanji Book Vol.1 (Bonjinsha)	Class participation 30%, Assignments 20%, Short Quizzes and Tests 50%
	Level 5 Reading B	Akiko ISHIZAKI	Tuesday 2nd	N312	To acquire basic reading skills of Japanese for daily life	Learning basic Japanese reading skills and doing practices with drills, exercises, Q & A, etc.	Marugoto (Rikai) Starter & Elementary and Handouts	Class participation 50%, Quizzes & Assignments 50%
	Level 5 Composition B	Yuko YAMADE	Wednesday 2nd	N312	To acquire basic writing skills of Japanese for daily life	Learning Basic Japanese writing skills and doing exercises with drills, quizzes, etc.	Marugoto (Rikai) Starter & Elementary + Handouts (based on 'Minna no nihongo')	Participation 30%, Quizzes, Assignments, etc 30%, Exams (Assessments) 40%
	Level 5 Conversation B	Minoru Sasame	Wednesday 1st	N312	To acquire basic communication skills of Japanese for daily life	Doing role-play and some tasks, and talking together with some topics.	Distribute handouts	Participation 30% Assignments 20% Quizzes・Final term test 50%